

みどころ1

三つの視点でたどる、 棟方志功とその北方性

本展では、棟方志功の芸術を「起源／原風景としての青森」「縄文と模様化された身体」「結晶化する祈りと信仰心」の3章でたどります。
故郷青森をテーマとする作品を中心に紹介することで、作品の背景にある北方の精神と創作の源泉を多角的にご覧いただきます。



《門世の柵》1968(1970摺)棟方志功記念館



《歓喜自板像・第九としての柵》1963(1974摺)棟方志功記念館



《道標の柵》1963/1964改刻(1964摺)棟方志功記念館

青森ゆかりの民俗資料や棟方が名付けた考古資料「風韻堂コレクション」などに加え、北海道との接点も紹介。作品の奥に息づく原風景や祈り、創造の源泉をたどり、北の風土が育んだ棟方芸術の一面を紹介します。



《華猷頌》1954 棟方志功記念館寄託(青森市)



《龍鯉》1968
棟方志功記念館寄託



上)《八甲田山麓図》1924 青森県立美術館
下)《雪国風景図》1924 青森県立美術館

みどころ2 創造の源泉と、 北へのまなざし

関連イベント

※イベントの最新情報および詳細については、HP、SNSなどでお知らせします

棟方志功記念館学芸員による講演会

9月19日(土) 11時～12時

場所 研修室

講師 竹浪 彩矢子氏(一般財団法人棟方志功記念館 学芸員)

定員 50人 申し込み順

申し込み 9月1日(火) 9時30分から電話またはHPで☎(35)2550

参加料 無料

夜の上映会『影る～棟方志功の世界』

夜間開館(20時まで開館)に併せて棟方の創作活動を紹介するドキュメンタリーを上映します。

9月22日(火)、11月20日(金) いずれも18時～18時40分

協力 ㈱毎日映画社

定員 50人

場所 研修室

参加料 無料

ギャラリートーク+裏彩色体験

展示解説を聞いた後に、棟方志功が版画制作に用いた「裏彩色」※を体験

10月10日(土) 14時～15時30分

場所 企画展示室、研修室

定員 20人 申し込み順

申し込み 9月10日(木) 9時30分から電話で☎(35)2550

参加料 無料(当日有効の観覧券が必要)

※裏彩色:作品の裏面から色を塗る技法

担当学芸員によるギャラリートーク

10月31日(土) 11時～11時30分、13時30分～14時

場所 企画展示室

参加料 無料(当日有効の観覧券が必要)

物販情報(美術館友の会)

日曜・祝日限定で、関連グッズの販売ブースを設けます。販売時間 10時～16時

左)《絵付けこけし(こけし部分:盛秀太郎作)》1957頃 棟方志功記念館 右)盛秀太郎《こけし》昭和時代 青森県立郷土館

